

猫のペット保険

5社で比較ポイント確認



1 保険によっては対象外の病気もある

歯周病補償がない
保険は約半分

歯周病

2 手術や入院補償の限度日額は「無制限」がおすすめ

手術や入院の補償額に上限がある保険では、上限を超えた分は自己負担

3 終身まで加入することを見据えると、総額の保険料が安い保険を

8歳頃に保険料が上昇、7才頃に保険の見直しも

70%補償で比較

窓口清算有り 補償額に上限がある⇒通院 30,000 円 (診察・レントゲン・エコーなどで)
(日額 14,000 円上限など) 70%補償 ⇒ 自己負担額 17,000 円

	1才	4才	8才	12才	14才	
アニコム ファミリー70	32,800	34,530	43,440	53,300	56,800	保険使用回数により保険料増額 8才で5万越えになることも 老舗ペット保険会社トップシェア 破綻の可能性は低い 保険料は高い
アイペット 70%	34,840	36,340	51,420	58,180	定額	12歳以降は保険料が上昇しない 保険料は終始高い 破綻の可能性は低い 12歳11ヶ月まで加入

窓口清算無し

無制限⇒通院 30,000 円 (診察・レントゲン・エコーなどで)
70%補償 ⇒ 自己負担額 9,000 円

	1才	4才	8才	12才	14才	
FPC ペットほけんフィット	13,500	17,060	29,060	46,230	定額	無制限の新規発売された商品 年間補償限度額 100 万円以内 保険の種類が多い 人気ではある
SBI いきいき 少額短期保険 スタンダード 70%	16,860	18,000	22,530	46,332	定額	11才11ヶ月まで新規加入可 12才から保険料増額なし 年間補償限度額 100 万円以内 バランスがよい
リトルファミリー 少額短期保険 70%	18,960	21,600	24,120	35,500	35,500	歯周病治療なし保険料は安い 年間補償限度額 120 万円以内 代理店に Amazon ペット保険が参入 2019 年に設立、歴史が浅い企業

1～6歳ころまでは高額な医療にかかる可能性が低いことから、保険料は少額のものが多いです。手術のみ適用の少額の保険も検討してみてください。病気がでてきやすい8才頃よりどの保険会社も保険料が上がり始めます。14才までの総額は20万～60万と幅があります。高い保険だからといって全てをカバーできるわけではないので、窓口清算はとても便利ですが、お守りに安い保険に入り、貯蓄で補うとすることも検討してみてくださいはいかがでしょうか。